

カリキュラム・ポリシー

1. 共通領域・学際領域の教授

各専攻分野にとらわれない、広い社会的視点を身につけさせるため、共通領域・学際領域における講義を充実させる。

2. 各専攻分野の専門知識の教授

各専攻分野の専門知識を体系的に理解させる講義科目をおく。また、各専攻分野固有の問題を解決する能力を身につけさせる演習科目を設ける。さらに、自ら課題を発見し、解決する姿勢を修得させる研究科目をおく。

3. 社会人学生の支援

具体的研究課題を有する社会人の入学を奨励し、社会人学生の本研究科における円滑な学習活動及び研究活動を支援する。

4. 社会における研究活動の支援

研究指導の課程では、各学協会が主催する研究報告会等への参加を奨励する。博士課程後期 3 年の課程の学生については、国内の研究報告会に加えて国際会議への参加を奨励し、その研究活動を支援する。